

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7299 URL <http://www.oozx.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 健三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 服部 孝樹

TEL 0537-35-5873

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,753	△34.3	377	△68.1	457	△61.2	240	△65.1
21年3月期第3四半期	14,838	—	1,185	—	1,177	—	688	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	11.69	—
21年3月期第3四半期	33.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	20,268	18,143	89.5	882.92
21年3月期	19,855	17,989	90.6	875.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 18,143百万円 21年3月期 17,989百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	3.00	10.00
22年3月期	—	4.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	△24.1	450	△36.6	600	△11.4	250	176.7	12.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 20,559,500株 21年3月期 20,559,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 10,837株 21年3月期 10,837株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 20,548,663株 21年3月期第3四半期 20,549,783株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績の予想の前提となる条件等については5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成22年3月期第3四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第3四半期	9,031 △35.0	206 △77.7	469 △55.6	310 △53.6
21年3月期第3四半期	13,892 —	927 —	1,055 —	668 —

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	15 09	—
21年3月期第3四半期	32 48	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	19,695	17,629	89.5	857 91
21年3月期	19,194	17,463	91.0	849 82

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,629百万円 21年3月期 17,463百万円

2. 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	12,200 △25.1	290 △39.1	560 △14.5	290 △22.8	14 11

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

3. 個別業績予想に関する定性的情報

連結業績予想と同じく個別業績においてもエコカー減税や補助金といった緊急経済政策が功を奏し、ハイブリット車や低公害車の販売が好調なことによる売上の増加、また徹底したコスト改善活動を行った結果、平成21年10月20日の公表数値を達成できる見通しとなりました。

よって平成21年10月20日に公表した業績予想から売上高、営業利益、経常利益を上方修正いたしました。

当期純利益については特別損失(固定資産除却損等)を見込んでいた為修正していません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な不況の長期化による企業業績の低迷が続き設備投資の減少、雇用情勢の悪化などから個人消費は低迷した状態で推移し依然として厳しい状況は続いております。

わが国の自動車業界についてはエコカー減税や補助金といった緊急経済対策が功を奏し、ハイブリット車や低公害車の好調から回復の兆しが見え始めているものの世界全体では本格的な回復には至っておらず引き続き厳しい状況は続き先行が見えない状況にあります。

このような状況の中、当社グループは引き続き徹底したコスト改善に向けた抜本的構造改革を推進する一方、収益確保と体質の強化を基本方針に掲げ、たな卸資産圧縮によるキャッシュ・フローの改善、変動費の低減、固定費の圧縮など徹底した経費削減活動により財務体質改善に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の総売上高は9,753百万円（前年同期 14,838百万円）、営業利益377百万円（前年同期 1,185百万円）、経常利益457百万円（前年同期 1,177百万円）、四半期純利益は240百万円（前年同期 688百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次の通りであります。

事業の種類別セグメント	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
自動車部品製造	9,188,195	△ 35.3
流通	564,419	△ 12.3
合計	9,752,614	△ 34.3

①自動車部品製造

国内の自動車生産台数はハイブリット車や低公害車の販売好調から回復傾向にありますが、世界全体では本格的な回復には至っておらず引き続き厳しい状況が続いております。

この結果、販売高は9,188百万円となりました。（前年同期 14,194百万円）

②流通

流通においても自動車メーカー各社の生産台数の大幅な減産に伴い、扱い荷量が減少したことなどから、販売高は564百万円となりました。（前年同期 643百万円）

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、20,268百万円と前連結会計年度末に比べ413百万円増加しました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、11,452百万円と前連結会計年度末に比べ955百万円の増加となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・ 売掛金の回収、経費の削減等により現金及び預金が559百万円、流動資産（その他）に含まれる預け金が500百万円増加したことによるものです。
- ・ 売上高の増加により受取手形及び売掛金が279百万円増加したことによるものです。
- ・ 商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品のたな卸資産について資産圧縮活動を行った結果、463百万円圧縮したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、8,816百万円と前連結会計年度末に比べ542百万円の減少となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・収益確保のため設備投資を抑制した結果、有形固定資産が391百万円減少したことによるものです。
- ・投資その他の資産(その他)に含まれていた当社が保有しておりました五洲汽門工業股份有限公司株式の売却により関係会社株式が121百万円減少しております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、1,987百万円と前連結会計年度末に比べ274百万円の増加となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・未払法人税等が124百万円増加したことによるものです。
- ・支払手形及び買掛金が81百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、138百万円と前連結会計年度末に比べ14百万円の減少となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・前連結会計年度末に比べ役員退職慰労引当金が12百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は、18,143百万円と前連結会計年度末に比べ154百万円増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

エコカー減税や補助金といった緊急経済政策が功を奏し、ハイブリット車や低公害車の販売が好調なことによる売上の増加、また徹底したコスト改善活動を行った結果、平成21年10月20日の公表数値を達成できる見通しとなりました。

よって平成21年10月20日に公表した業績予想から売上高、営業利益、経常利益を上方修正いたしました。

当期純利益については特別損失(固定資産除却損等)を見込んでいた為修正しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,506,912	3,947,964
受取手形及び売掛金	※3 3,499,394	3,220,592
商品及び製品	545,844	770,521
仕掛品	381,169	478,172
原材料及び貯蔵品	666,723	807,637
その他	1,858,206	1,277,499
貸倒引当金	△6,420	△6,005
流動資産合計	11,451,827	10,496,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	※1 2,817,664	※1 2,952,544
機械装置及び運搬具(純額)	※1 1,877,035	※1 2,106,865
土地	2,302,210	2,302,862
その他(純額)	※1 102,146	※1 128,141
有形固定資産合計	7,099,054	7,490,412
無形固定資産	29,899	34,803
投資その他の資産		
その他	1,716,158	1,861,569
貸倒引当金	△28,945	△28,545
投資その他の資産合計	1,687,212	1,833,024
固定資産合計	8,816,166	9,358,239
資産合計	20,267,993	19,854,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 1,268,840	1,187,628
未払法人税等	143,108	19,599
賞与引当金	36,080	30,629
その他	※3 538,906	475,276
流動負債合計	1,986,934	1,713,132
固定負債		
退職給付引当金	45,432	46,520
役員退職慰労引当金	79,870	92,070
その他	12,870	13,574
固定負債合計	138,173	152,163
負債合計	2,125,107	1,865,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	13,082,341	12,986,049
自己株式	△5,576	△5,576
株主資本合計	18,864,865	18,768,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14	△113
為替換算調整勘定	△721,993	△779,136
評価・換算差額等合計	△721,978	△779,249
純資産合計	18,142,886	17,989,324
負債純資産合計	20,267,993	19,854,619

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,837,759	9,752,614
売上原価	12,426,003	8,345,586
売上総利益	2,411,756	1,407,028
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	428,708	351,515
賞与引当金繰入額	806	2,487
退職給付費用	34,492	40,561
役員退職慰労引当金繰入額	17,018	16,352
その他	746,068	618,644
販売費及び一般管理費合計	1,227,092	1,029,559
営業利益	1,184,664	377,469
営業外収益		
受取利息	6,254	5,397
受取配当金	4,320	1,440
持分法による投資利益	57,962	—
受取賃貸料	45,934	41,820
助成金収入	87,556	132,018
その他	6,086	22,973
営業外収益合計	208,112	203,649
営業外費用		
支払利息	1,570	52
固定資産除却損	120,179	17,254
為替差損	66,676	—
持分法による投資損失	—	73,316
その他	27,172	33,201
営業外費用合計	215,597	123,824
経常利益	1,177,179	457,295
特別利益		
固定資産売却益	—	7,759
特別利益合計	—	7,759
特別損失		
過年度損益修正損	36,635	—
退職給付制度終了損	8,261	—
関係会社株式売却損	—	49,124
特別損失合計	44,896	49,124
税金等調整前四半期純利益	1,132,283	415,929
法人税、住民税及び事業税	415,748	260,338
法人税等還付税額	—	△16,199
法人税等調整額	28,517	△68,343
法人税等合計	444,265	175,796
四半期純利益	688,018	240,133

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,132,283	415,929
減価償却費	777,232	548,935
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,033	815
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,644	5,451
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,710	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,078	△1,087
前払年金費用の増減額(△は増加)	△8,668	26,374
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,379	△12,200
受取利息及び受取配当金	△10,574	△6,837
支払利息	1,570	52
持分法による投資損益(△は益)	△57,962	73,316
関係会社株式売却損益(△は益)	—	49,124
有形固定資産処分損益(△は益)	81,119	7,109
売上債権の増減額(△は増加)	1,170,407	△278,822
たな卸資産の増減額(△は増加)	194,773	461,526
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,112,348	81,368
その他	△195,231	△87,794
小計	1,944,581	1,283,260
利息及び配当金の受取額	52,898	47,892
利息の支払額	△1,570	△52
法人税等の還付額	18,889	75,686
法人税等の支払額	△391,309	△133,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,623,489	1,273,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	71,483
有形固定資産の取得による支出	△395,611	△155,875
有形固定資産の売却による収入	24,039	10,843
無形固定資産の取得による支出	△2,168	—
その他	2,954	5,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,786	△68,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△308,248	△143,841
自己株式の取得による支出	△120	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308,368	△143,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,203	△1,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	930,133	1,059,279
現金及び現金同等物の期首残高	3,508,648	4,987,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 4,438,780	* 6,046,599

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社グループは自動車用エンジン部品を主体とする動弁系部品メーカーであり、自動車部品製造における売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	自動車部品 製造 (千円)	流通 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,285,132	216,503	3,501,635	—	3,501,635
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	614	105,919	106,533	△ 106,533	—
計	3,285,745	322,422	3,608,168	△ 106,533	3,501,635
営業利益	227,752	25,964	253,715	27,825	281,541

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

(1) 自動車部品製造・・・エンジンバルブ製造

(2) 流通・・・・・・・・・・運輸、物流

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社グループは自動車用エンジン部品を主体とする動弁系部品メーカーであり、自動車部品製造における売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

2 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

3 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	267,016	307,978	574,994
II 連結売上高(千円)	—	—	4,324,558
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.2	7.1	13.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北米・・・米国

(2)その他の地域・・・英国、タイ、韓国、台湾、中国、インド他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	206,434	184,354	390,788
II 連結売上高(千円)	—	—	3,501,635
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.9	5.3	11.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北米・・・米国

(2)その他の地域・・・中国、インド、英国、タイ、独国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	908,424	778,453	1,686,877
II 連結売上高(千円)	—	—	14,837,759
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.1	5.2	11.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北米・・・・・・・・・・米国

(2)その他の地域・・・・・・・・英国、タイ、韓国、台湾、中国、インド他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	766,860	418,289	1,185,149
II 連結売上高(千円)	—	—	9,752,614
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.9	4.3	12.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北米・・・・・・・・・・米国

(2)その他の地域・・・・・・・・中国、インド、独国、タイ、英国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。